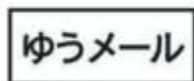




料金後納



ゆうメール

世田谷パブリックシアター SETAGAYA PUBLIC THEATRE

学芸プログラム 通信



No. 2

2020年8月号

拝啓

厳しい暑さが続いておりますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

世田谷パブリックシアター学芸にとっては、8月は何ととっても夏休みワークショップ（以下、WS）。新型コロナウイルス感染症のためにいつもよりも短い夏休みとなりましたが、小学生から高校生まで合わせて17コースの演劇WSを劇場稽古場にて開催しました。暑い最中にマスクを着用し、さまざまな制限を設けての演劇WSは不便も多く、子どもたちも戸惑っているようでしたが、それでもそこで集まった参加者同士で協力して作業を行うことを心より楽しんでいただいているように思います。

一般の方々に向けては、3月に上演中止となった、地域の方々のライフストーリーからつくりあげる演劇プロジェクト「地域の物語『家族をめぐるささやかな冒険』」の演劇発表会映像記録上映会、そして『デイ・イン・ザ・シアター～はじめのいっぽ 8月の残暑編～』（1日限りの「演劇&劇場」体験ワークショップ）を行いました。限られた形でも、劇場に人々が集まり、「今」この時にしか生まれないものを多くの皆さんとともに味わうことができた夏となりました。

敬具

世田谷パブリックシアター 学芸事業の今後の予定（9月～10月）

9月

- 8日（火） かなりゴキゲンなWS 巡回団@駒沢中学校2年（区内小中学校訪問WS：依頼毎）
- 11日（金） かなりゴキゲンなWS 巡回団@駒沢中学校2年（区内小中学校訪問WS：依頼毎）
- 11日（金） 『あかちゃんのためのえんげきWS 絵本のセカイへしゅっぱつしんこー！』（0～5歳の子どものためのWS）
- 12日（土）
- 18日（金） かなりゴキゲンなWS 巡回団@駒沢中学校2年（区内小中学校訪問WS：依頼毎）
- 20日（日） 『世田谷パブリックシアター演劇部 中学生の部』①/②（中学生のための演劇WS）
- 21日（月） 『デイ・イン・ザ・シアター～はじめのいっぽ 9月～』①/②（劇場で行う短時間のWS：月1～数回）
- 27日（日） 『世田谷パブリックシアター演劇部 中学生の部』①/②（中学生のための演劇WS）

10月

- 1日（木） かなりゴキゲンなWS 巡回団@桜丘小学校6年（区内小中学校訪問WS：依頼毎）
- 2日（金） かなりゴキゲンなWS 巡回団@桜丘小学校6年（区内小中学校訪問WS：依頼毎）
- 3日（土） 演劇WSラボ「今後の実践について考えるおしゃべり会」（演劇WS専門家育成）
- 7日（水） 下馬地区アートプロジェクト『だれでも表現クラブ・極楽』（高齢者の居場所づくり：月1回）
- 7日（水） 世田谷区立小学校教育研究会教科「日本語」研修（区内教員向けWSレクチャー）
- 10日（土） 『デイ・イン・ザ・シアター～はじめのいっぽ 10月～』①/②（劇場で行う短時間のWS：月1～数回）
- 11日（日） 『世田谷パブリックシアター演劇部 中学生の部』①/②（中学生のための演劇WS）
- 20日（火） 演劇WSラボ「絵本読み聞かせクラブ」（演劇WS専門家育成）
- 23日（金） 『ダンス食堂 メニュー19 康本雅子』トーク（ダンス公演関連企画）
- 27日（火） 演劇WSラボ「ディスタンスクラブ」（演劇WS専門家育成）

【取材・企画に関するお問合せ】

世田谷パブリックシアター 学芸：恵志 九谷 塩原
TEL 03-5432-1526 FAX 03-5432-1559

小学校低学年 小学生のためのえんげきワークショップ～低学年コース～(対象:小学1・2年生)
小学校中学年 小学生のためのえんげきワークショップ～中学年コース～(対象:小学3・4年生)
小学校高学年 小学生のためのえんげきワークショップ～高学年コース～(対象:小学5・6年生)

中学生 中学生のための演劇ワークショップ(対象:中学生)
高校生 高校生のための演劇ワークショップ(対象:高校生もしくは2002年4月2日～2005年4月1日生まれの人)

1(土) 地域の物語 2020『家族をめぐるささやかな冒険』演劇発表会映像記録上映会+意見交換会 [レポート](#) [裏面へ](#)
 2(日)

3(月) **小学校低学年** 10:00-11:30
 4(火) 「桃太郎」で鬼と仲良くするために
 5(水) 喜びそうなプレゼントをあげよう!
 (進行役: 富永圭一)



小学校中学年 10:30-12:00
 絵本『シルクハットぞくはよなかのいちじにやってくる』シルクハットぞくがこっそりやることってなに?
 (進行役: 有吉宣人)



中学生 14:30-16:30
 「もやもや」の根を発見して、差別や生きづらさを考えてみよう!
 (進行役: とみやまあゆみ)

7(金) **小学校低学年** 10:00-11:30
 8(土) 演劇で「夏」をおもいきり満喫しよう!
 9(日) (進行役: 柏木陽)



小学校高学年 14:30-16:00
 「相棒」と行きたいところを旅しよう!
 (進行役: 田崎葵)



11(火) **小学校低学年** 10:00-11:30
 12(水) 大切なものを絵に描いて、
 13(木) 宝の山に探しにいこう!
 (進行役: すずきこーた)



最終日が俳句の日(8月19日)だったため、子どもたちの作った俳句からの演劇づくりを行いました。「夏休み プールにいて 泳ぎたい」「お盆の日 家で迎える 不思議な年」のように、今年の夏休みならではの俳句からの演劇づくりを通じて、子どもたち自身が互いに感じていることを認識する時間になりました。

小学校中学年 10:30-12:00
 絵本『ゴムあたまポンたろう』旅するポンたろうはどこへとんでゆく?
 (進行役: 大道朋奈)



中学生 14:30-16:30
 古典戯曲を現代化してみよう!
 (進行役: 金谷奈緒)

17(月) **小学校低学年** 10:00-11:30
 18(火) みんながやりたいことが
 19(水) なんでもできる、夢の島を冒険だ!
 (進行役: 青山公美嘉)



小学校中学年 10:30-12:00
 「夏」をテーマに俳句を詠み、演劇をつくってみよう!
 (進行役: すずきこーた)



高校生 14:30-16:30
 「空想交換日記」から演劇をつくらう
 (進行役: 花崎攝)

各々考えた架空のキャラクターで、交換日記を行いました。手持ち扇風機、クローゼットのハンガー、宇宙人、元人魚のOLなどの非現実的な設定にも、参加者自身の個性や普段の思考、関係性などが反映されていました。これらの日記から演劇づくりを行い、制約だらけの厳しい現実の下で、高校生たちはのびやかに楽しんでいました。

21(金) **小学校低学年** 10:00-11:30
 22(土) 「真夏の王国物語」の劇をつくらう!
 23(日) (進行役: とみやまあゆみ)



「真夏の王国物語」という設定で演劇づくりを行いました。子どもたち自身で「お花の王国」をつくと決めた後、さまざまな装飾をつけた衣装をつくり、衣装に込めたアイデアを生かしながら演劇づくりを行いました。新一年生は学校生活をあまり体験できないまま夏休みに入ったため、仲間と一緒に協力する体験がとても楽しかったようです。

小学校中学年 10:30-12:00
 演劇=Play=遊ぶ。
 遊びながら演劇をつくってみよう!
 (進行役: 田崎葵)



高校生 14:30-16:30
 「対立」「葛藤」を考えてみよう!
 (進行役: 柏木陽)



「対立」や「葛藤」の元となる「本当はやりたいこと=でも今はやれないこと」に焦点をあて、話し合いをすると「アルバイトがしたい」「俳優になりたい」という夢を人に話せないなど、等身大の気持ちを聞くことができました。それらを元に短いテキストを書き、演劇の場面として立体化。それぞれの人生の中に、身近に「葛藤」や「対立」が存在することを実感する時間となりました。

25(火) **小学校低学年** 10:00-11:30
 26(水) 絵本「ムニヤムニヤ行きのバス」、バスから降りてくるものを考えて身体で表現しよう!
 27(木) (進行役: 大道朋奈)



小学校高学年 14:30-16:00
 雑誌の切り抜きから物語をつくってみよう!
 (進行役: 青山公美嘉)



中学生 14:30-16:30
 「秘密」をテーマに演劇をつくらう!
 (進行役: 有吉宣人)

「秘密を人と共有する」という設定から演劇づくりを行いました。子どもたちが考えたのは「告白現場を目撃した人々が口をつぐむ」「見つけたかっぱやお化けを、友達と一緒に秘密にする」などですが、大きな声や台詞で説明をするのではなく、身体の演技や「間」で秘密を共有する緊張感を生み出すことを試みていました。



30(日) ○ デイ・イン・ザ・シアター ～はじめのいっぽ 8月の残暑編～ [レポート](#) [裏面へ](#)

地域の物語 2020『家族をめぐるささやかな冒険』演劇発表会 映像記録上映会＋意見交換会

8月1日(土) 18:30～21:30

8月2日(日) 13:00～16:00

(進行役：柏木陽、関根信一、藤原佳奈、山本雅幸)

『地域の物語』は、毎年設定したテーマのもとに集まった地域の方々が、ワークショップ(以下、WS)を通じて、自分のライフストーリーや話し合いから演劇を作り、例年3月の週末にシアタートラムで発表するプロジェクトです。2020年1月～3月に実施した『地域の物語 2020 ワークショップ』へは、約30名が参加。「家族」をテーマに、演劇づくりを進めました。WS最終日の3月22日には、つくりあげた作品を上演・発表し、意見交換を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のためやむなく中止となり、代わりに記録映像を撮影しました。今回、その記録映像の上映会と意見交換会をシアタートラムで実施しました。

感染症対策を徹底し、緊張の中始まった上映会ですが、WS参加者の「家族」にまつわるさまざまな人生に触れ、そこにいた誰もが自分にとっての「家族」に想いを巡らせていたようでした。上映後の意見交換会では、来場した方たちの書いたアンケート回答「印象に残った場面とその理由」「ほかの人に聞いてみたいこと」などを舞台上のスクリーンに映し出しながら、意見交換を行いました。話が進められる中で、「家族」について、大切な人について、自分の心の根っこにあるものは何なのか全員で考える時間となりました。



『デイ・イン・ザ・シアター～はじめのいっぽ 8月の残暑編～』 雑誌のコラージュから演劇をつくらう！

8月30日(日) 10:30～12:30

(進行役：青山公美嘉)

8月の『デイ』は「雑誌のコラージュから演劇を作る」ことを行いました。はじめに、距離を取りながら歩き回り、出会った人と異国の言葉であいさつをする「あいさつゲーム」を行い、ウォーミングアップ。はじめは緊張気味だった参加者の方々の顔も、お互いの顔を見て挨拶を交わすうちに自然とほころび、和やかな空気に。

ゲームが終わると、いよいよコラージュへ。雑誌を床に点在させ、どんな雑誌があるか見て回り、これだと思った雑誌を選びます。その後、雑誌の中から写真や言葉を選んで切り、配布された画用紙に貼り付けると…世界でたった1枚のオリジナルコラージュの完成です。その後、ランダムに組んだペアで2枚のコラージュを合体してお芝居のチラシに見立て、そこからストーリーを創作して発表。更に、ペアをつくりなおしてチラシもシャッフル！他の人がつくったチラシを元に、自分たちのアイデアをプラスして、題名を考え、お芝居を演じました。デート中、意中の彼に色気をばらまく彼女。デート場所は90分の食べ放題レストラン。料金分は食べないともったいない！と食べて食べて食べまくる彼女、最後はお腹パンパンになってしまう「色気より食い気」。身の回りにある“ときめくもの”を言葉と身体で表現した「ときめくもの」。ロックな紳士と女の子がグルメを求めて旅する「2人のロックな物語」。一つひとつのオリジナルティ溢れるシーンが出来上がりました。

